

東京工業高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	基礎数学I演習
科目基礎情報				
科目番号	0046	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	情報工学科	対象学年	1	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	上野健爾監修 『高専テキストシリーズ 基礎数学』 森北出版株式会社			
担当教員	小中澤 聖二			

### 到達目標

- 数と式についての色々な計算が出来る。
- 集合の性質について理解し、論理的に考える事が出来る。
- 色々な関数のグラフを描き、その性質を調べる事が出来る。

### ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	数と式についての複雑な計算が出来る。	数と式についての基本的な計算が出来る。	数と式についての基本的な計算が出来ない。
評価項目2	複雑な集合の性質を理解し、色々な証明をする事が出来る。	基本的な集合の性質を理解し、簡単な証明をする事が出来る。	基本的な集合の性質を理解せず、簡単な証明をする事が出来ない。
評価項目3	複雑な関数のグラフを描き、その性質を調べる事が出来る。	基本的な関数のグラフを描き、その性質を調べる事が出来る。	基本的な関数のグラフを描けず、その性質を調べられない。

### 学科の到達目標項目との関係

JABEE (c)

### 教育方法等

概要	ものづくりに携わる技術者としての基礎を作る為に、実数・平方根・複素数の性質とその計算、整式の四則演算・因数分解・剰余の定理と因数定理、集合・命題、等式と不等式の証明、2次関数・べき関数・分数関数・無理関数・合成関数・逆関数のグラフとその性質を理解・修得する。
授業の進め方・方法	基礎数学 I は主に講義形式で行い、基礎数学 I 演習は主に演習形式で行う。
注意点	中学数学の内容を良く復習しておく事。

### 授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1週	春休み明け試験、ガイダンス	
	2週	実数の計算	等式や不等式の性質を利用し、実数の計算が出来る。絶対値の計算が出来る。
	3週	平方根、複素数	平方根や複素数の計算が出来る。
	4週	整式の展開と因数分解	整式を展開したり因数分解する事が出来る。
	5週	整式の除法、剰余の定理と因数定理、分数式	整式の除法や剰余の定理を用いて商や余りを求める事ができる。因数定理を用いて因数分解が出来る。分数式の計算が出来る。
	6週	2次方程式、高次方程式、色々な方程式	解の公式を用いて2次方程式を解く事が出来る。因数定理を用いて高次方程式を解く事が出来る。連立方程式や分数式・無理式を含む方程式を解く事が出来る。
	7週	前期中間試験	
	8週	集合と命題	色々な集合について理解している。命題の真偽を判定し、必要条件・十分条件を述べる事が出来る。命題の逆・裏・対偶を述べる事が出来る。
2ndQ	9週	恒等式、等式と不等式の証明	恒等式と方程式の違いを理解している。等式や不等式の証明をする事が出来る。
	10週	2次関数とそのグラフ	2次関数のグラフを描く事が出来る。
	11週	2次関数と2次方程式・2次不等式	2次関数のグラフや判別式を用いて2次方程式の解や2次不等式の解の範囲を求める事が出来る。
	12週	関数とそのグラフ、べき関数	関数のグラフを平行移動したり対称移動したりする事が出来る。べき関数のグラフを描く事が出来る。
	13週	分数関数、無理関数、合成関数、逆関数	分数関数や無理関数のグラフを描く事が出来る。分数式や無理式を含む不等式を解く事が出来る。合成関数や逆関数を求める事が出来る。
	14週	前期末試験	
	15週	試験解説	
	16週		

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	数学	数学	整式の加減乗除の計算や、式の展開ができる。	3	
			因数定理等を利用して、4次までの簡単な整式の因数分解ができる。	3	
			分数式の加減乗除の計算ができる。	3	
			実数・絶対値の意味を理解し、絶対値の簡単な計算ができる。	3	
			平方根の基本的な計算ができる(分母の有理化も含む)。	3	

			複素数の相等を理解し、その加減乗除の計算ができる。	3	
			解の公式等を利用して、2次方程式を解くことができる。	3	
			因数定理等を利用して、基本的な高次方程式を解くことができる。 。	3	
			簡単な連立方程式を解くことができる。	3	
			無理方程式・分数方程式を解くことができる。	3	
			1次不等式や2次不等式を解くことができる。	3	
			1元連立1次不等式を解くことができる。	3	
			基本的な2次不等式を解くことができる。	3	
			恒等式と方程式の違いを区別できる。	3	
			2次関数の性質を理解し、グラフをかくことができ、最大値・最小値を求めることができる。	3	
			分数関数や無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。 。	3	
			簡単な場合について、関数の逆関数を求め、そのグラフをかくこ とができる。	3	
			無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	
			関数のグラフと座標軸との共有点を求めることができる。	3	

#### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0